2015 年 10 月 30 日

報道関係各位

当社製防振ゴム部品に関する追加調査の結果について

東洋ゴム工業株式会社

東洋ゴム工業株式会社（本社：大阪市、社長：山本卓司）は、10 月 14 日に公表した一般産業用防振ゴム部品の不実記載に関連し、対象期間を 2004 年以前に広げて追加調査した結果について、本日、国土交通省ならびに経済産業省にその報告を行ないましたのでお知らせいたします。

1. 追加調査の結果について

本調査は、製造物責任法や ISO に基づいて、東洋ゴム化工品 明石工場が定めている記録保管期間（10 年）より過去にさかのぼり、最終的に記録が存在した 1999 年から 2004 年までについて、一般産業用防振ゴム部品（船舶用、鉄道車両用、建設機械用、その他産業用）を対象に記録の照合を行なったものです。この結果、2 品番において問題行為があったことを確認しました。

1）調査対象 ： 1999～2004 年に製造・販売した 1,378 品番（出荷製品合計 2,094 万 0,975 個）
2）当該製品 ： 2 品番※（出荷製品合計 2,880 個）*1

※ この 2 品番は、10 月 14 日に公表した 2005 年～2015 年の調査において判明した当該製品の品番と重複する同品番であるため、最終的に品番数が増えることにはなりません。

これらの製品以外に同工場で製造している防振ゴム分野の製品（産業機械用空気ばね、鉄道車両用空気ばね、ゴムホース等）についても、同期間（1999～2004 年）における調査を行ない、該当する問題行為がなかったことを確認しています。

2. 納入先様との仕様書の再確認結果等について

10 月 14 日時点で「納入先様との仕様書の再確認が必要」としていた 81 品番（1 万 2,702 個）について確認調査を行なった結果、79 品番（1 万 0,160 個）*2 に問題がなかったこと、2 品番（2,542 個）において不実記載のあったことが判明しました。
一方、当初公表した当該製品 189 品番（8 万 7,804 個）のうち、27 品番（3 万 3,878 個）*3 は不実記載の事実がないにもかかわらず計上されていたことが精査によって判明しました。

3. 最終的な問題範囲の特定について

これらの判明事実を総合しますと、このたびの当社製一般産業用防振ゴム部品における不実記載が行なわれた当該製品の品番および出荷個数は、以下のとおりとなります。

・2005 年～2015 年を対象とした調査結果	189 品番	8 万 7,804 個	
・1999 年～2004 年を対象とした調査結果（*1）	2 品番※	2,880 個	（ ＋ ）
・納入先様との仕様書の再確認結果（*2）	79 品番	1 万 0,160 個	（ － ）
・前回調査の精査結果（*3）	27 品番	3 万 3,878 個	（ － ）
当該製品	83 品番	4 万 6,646 個	（最終）

なお、今回の追加調査等の結果、当該製品の納入先数は、最終的に 15 社となります。

4. 今後の対応について

1）第三者機関への検査依頼

不実記載のあった全 83 品番に使用されているゴム材料について、自社による再現試験、および外部第三者機関への検査依頼を行なっています。納入先様へこれらの物性評価（試験結果）のご説明を進めるとともに、当該製品が使用される最終完成品の安全性について、確認のご協力要請を引き続き行なっていきます。

2）最終使用用途の確認

これまでに当該製品に関わる不具合報告、当該製品に起因する事故等の報告はありませんが、どういった最終完成品に使用され、具体的にどういった部位に用いられているかの把握を引き続き進めていきます。

3）原因究明および再発防止

原因究明については、関係者へのヒアリング調査等を実施してきたほか、当社と利害関係のない外部の法律事務所に相談のうえ、調査についての協力をもらいながら進めています。
問題の経緯・原因について 11 月末をめどに究明、整理し、12 月中旬をめどに再発防止策等をまとめ、これを報告する予定です。

4）再監査の実施

当社がこれまで行なった緊急品質監査および品質・コンプライアンス調査双方の監査手法について、外部の専門コンサルティング機関に相談し、改めて監査手法、体制を再構築し、全事業を対象に再監査に取り組みます。

5. 業績への影響について

現時点で本事案に関連して起こり得る費用発生に対する想定材料が不十分であるため、その算定はできません。今後、業績に与える影響が判明次第、適時適切に公表を行ないます。

以　上

本件に関するお問合せ先

東洋ゴム工業株式会社　広報企画部　大阪 TEL.06-6441-8803／東京 TEL.03-5822-6621

TOYO TIRES
driven to perform

〔補足資料〕

当社製防振ゴム部品に関する追加調査の結果について

2015年10月30日
東洋ゴム工業株式会社

補足資料

1. 追加調査結果（1999年～2004年）

2. 調査最終結果（1999年～2015年）

3. （ご参考）防振ゴム部品の流通ルート

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

1.追加調査結果（1999年～2004年）

TOYO TIRES
driven to perform

調査対象

- 期　間 ： 1999年~2004年
- 品番数 ： 1,378 品番

問題行為のあった当該製品 ：2品番･2,880個

【分野別内訳】

分野	一般産業用防振ゴム部品　全品番数			当該製品	
	登録品番*1（種類）	流動品番数*2（種類）	出荷個数（個/6年）	品番数（種類）	出荷個数（個/6年）
船舶用	814	307	160,568	0	0
鉄道車両用	842	789	563,466	2	2,880
建設機械用	80	64	211,471	0	0
その他産業用	7,795	218	20,005,470	0	0
合計	**9,531**	**1,378**	**20,940,975**	**2**	**2,880**

＊1　登録品番は2015年現在のデータ

＊2　流動品番とは、期間中販売実績のある品番のこと

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

1.追加調査結果（1999年～2004年）※内訳

TOYO TIRES driven to perform

鉄道車両用

2品番
（2,880個）

問題行為の内容	
①	材料試験未実施／過去データを転記、もしくは経験式で得た数値を記載
②	材料試験実施／要求規格値に満たない一部の試験成績を改ざん、規格値を満たした数値を記載
③	材料試験実施／仕様書に指定されている抜き取り検査数を満たさないまま検査成績書を記入
その他（納入先様と仕様書の再確認が必要な品番）	

製品別	納入数（社）	品番数（個数）	問題行為の内容（品番数/製品個数）			その他
			①	②	③	
落とし窓受ゴム	1	1 （148）	0 （0）	1 （148）	0 （0）	—
変圧器吊ゴム	1	1 （2,732）	0 （0）	0 （0）	1 （2,732）	—
合計	**2**	**2 （2,880）**	**0 （0）**	**1 （148）**	**1 （2,732）**	**—**

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

参考：10/14公表調査結果（2005年～2015年）

TOYO TIRES driven to perform

※
下表の数字は追加調査の結果、P5のとおり修正されます。

問題行為の内容	
①	材料試験未実施／過去データを転記、もしくは経験式で得た数値を記載
②	材料試験実施／要求規格値に満たない一部の試験成績を改ざん、規格値を満たした数値を記載
③	材料試験実施／仕様書に指定されている抜き取り検査数を満たさないまま検査成績書を記入
その他（納入先様と仕様書の再確認が必要な品番）	

分野	納入数（社）	品番数（個数）	問題行為の内容（品番数/製品個数）			その他
			①	②	③	
船舶用	14	166 (56,126)	87 (45,295)	2 (1,044)	2 (11)	75 (9,776)
鉄道車両用	5	6 (29,146)	0 (0)	3 (10,047)	1 (16,557)	2 (2,542)
その他産業用	5	17 (2,532)	13 (2,148)	0 (0)	0 (0)	4 (384)
合計	**18***	**189 (87,804)**	**100 (47,443)**	**5 (11,091)**	**3 (16,568)**	**81 (12,702)**

＊分野別で重複有り

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

2.最終調査結果（1999年～2015年）※17年間分

TOYO TIRES driven to perform

※最終特定

問題行為の内容	
①	材料試験未実施／過去データを転記、もしくは経験式で得た数値を記載
②	材料試験実施／要求規格値に満たない一部の試験成績を改ざん、規格値を満たした数値を記載
③	材料試験実施／仕様書に指定されている抜き取り検査数を満たさないまま検査成績書を記入
その他（納入先様と仕様書の再確認が必要な品番）	

分野	納入数（社）	品番数（個数）	問題行為の内容（品番数/製品個数）			その他
			①	②	③	
船舶用	10	70 (18,026)	68 (18,015)	0 (0)	2 (11)	—
鉄道車両用	5	6 (27,268)	3 (6,370)	2 (1,609)	1 (19,289)	—
その他産業用	2	7 (1,352)	7 (1,352)	0 (0)	0 (0)	—
合計	**15***	**83 (46,646)**	**78 (25,737)**	**2 (1,609)**	**3 (19,300)**	**—**

＊分野別で重複有り

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

2.最終調査結果（1999年～2015年）※製品別内訳

TOYO TIRES driven to perform

船舶用

70品番
（18,026個）

問題行為の内容	
①	材料試験未実施／過去データを転記、もしくは経験式で得た数値を記載
②	材料試験実施／要求規格値に満たない一部の試験成績を改ざん、規格値を満たした数値を記載
③	材料試験実施／仕様書に指定されている抜き取り検査数を満たさないまま検査成績書を記入
その他（納入先様と仕様書の再確認が必要な品番）	

製品別	納入数（社）	品番数（個数）	問題行為の内容（品番数/製品個数）			その他
			①	②	③	
ディーゼルエンジン用防振ゴム	9	45 （15,945）	45 （15,945）	0 （0）	0 （0）	—
カップリング	3	25 （2,081）	23 （2,070）	0 （0）	2 （11）	—
合計	**10***	**70 （18,026）**	**68 （18,015）**	**0 （0）**	**2 （11）**	**—**

＊製品別で重複有り

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

2.最終調査結果（1999年～2015年）※製品別内訳

TOYO TIRES driven to perform

鉄道車両用

6品番
（27,268個）

問題行為の内容	
①	材料試験未実施／過去データを転記、もしくは経験式で得た数値を記載
②	材料試験実施／要求規格値に満たない一部の試験成績を改ざん、規格値を満たした数値を記載
③	材料試験実施／仕様書に指定されている抜き取り検査数を満たさないまま検査成績書を記入
その他（納入先様と仕様書の再確認が必要な品番）	

製品別	納入数（社）	品番数（個数）	問題行為の内容（品番数/製品個数）			その他
			①	②	③	
落とし窓受ゴム	1	1 (409)	0 (0)	1 (409)	0 (0)	—
変圧器吊ゴム	2	3 (20,755)	2 (1,466)	0 (0)	1 (19,289)	—
レール間隔材	1	1 (1,200)	0 (0)	1 (1,200)	0 (0)	—
ボルスタアンカ緩衝ゴム （ブッシュ型緩衝ゴム）	1	1 (4,904)	1 (4,904)	0 (0)	0 (0)	—
合計	**5**	**6 (27,268)**	**3 (6,370)**	**2 (1,609)**	**1 (19,289)**	—

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

2.最終調査結果（1999年～2015年）※製品別内訳

TOYO TIRES driven to perform

その他産業用

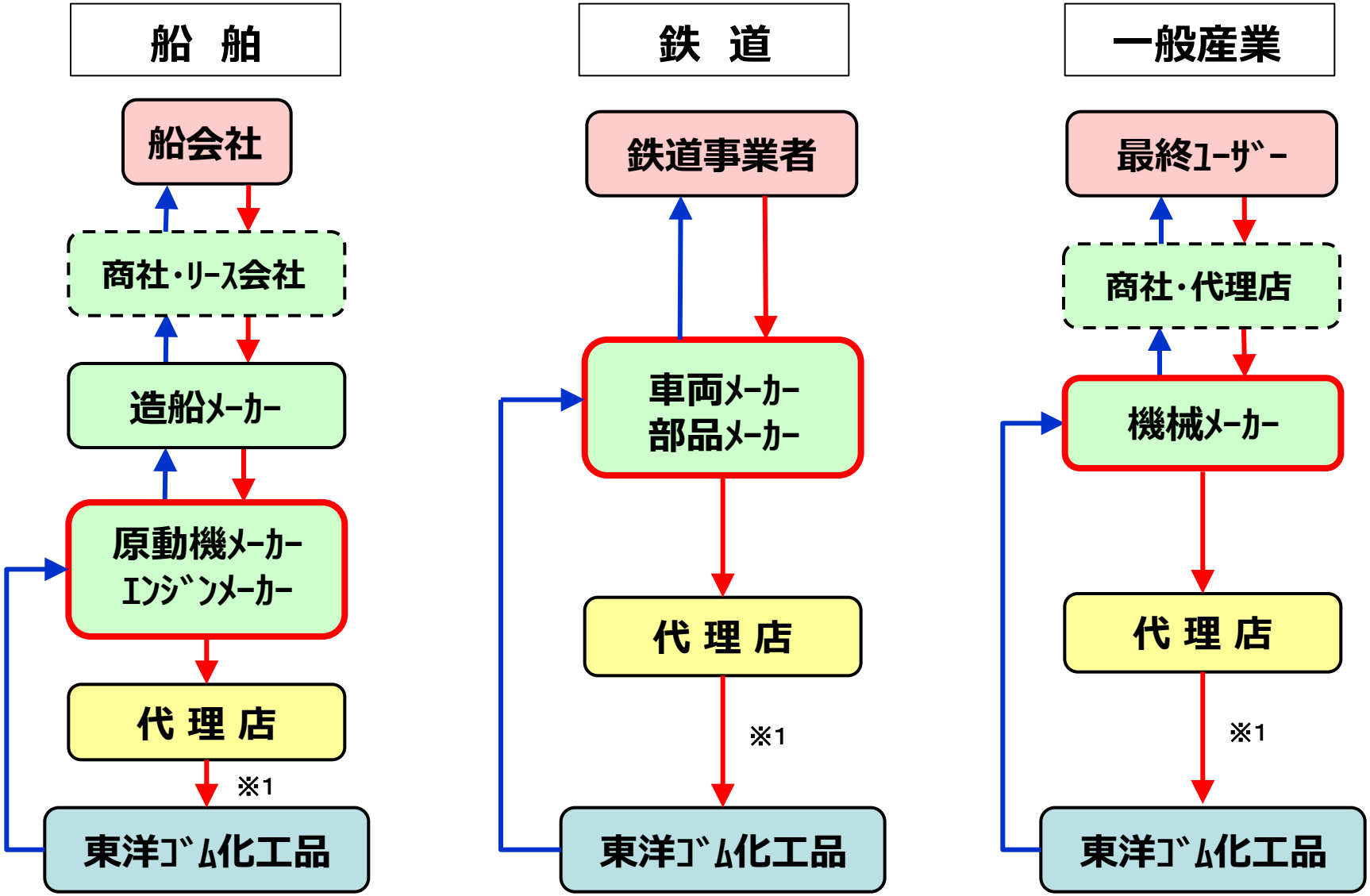
7品番
（1,352個）

問題行為の内容	
①	材料試験未実施／過去データを転記、もしくは経験式で得た数値を記載
②	材料試験実施／要求規格値に満たない一部の試験成績を改ざん、規格値を満たした数値を記載
③	材料試験実施／仕様書に指定されている抜き取り検査数を満たさないまま検査成績書を記入
その他（納入先様と仕様書の再確認が必要な品番）	

製品別	納入数（社）	品番数（個数）	問題行為の内容（製品個数）			その他
			①	②	③	
圧搾膜	1	2 (400)	2 (400)	0 (0)	0 (0)	—
一般産業	1	5 (952)	5 (952)	0 (0)	0 (0)	—
合計	**2**	**7 (1,352)**	**7 (1,352)**	**0 (0)**	**0 (0)**	—

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

（ご参考）防振ゴム部品の流通ルート



発注

納品

※1：取引契約書に基づく守秘義務有り

© TOYO TIRE & RUBBER CO.,LTD.

TOYO TIRES

driven to perform